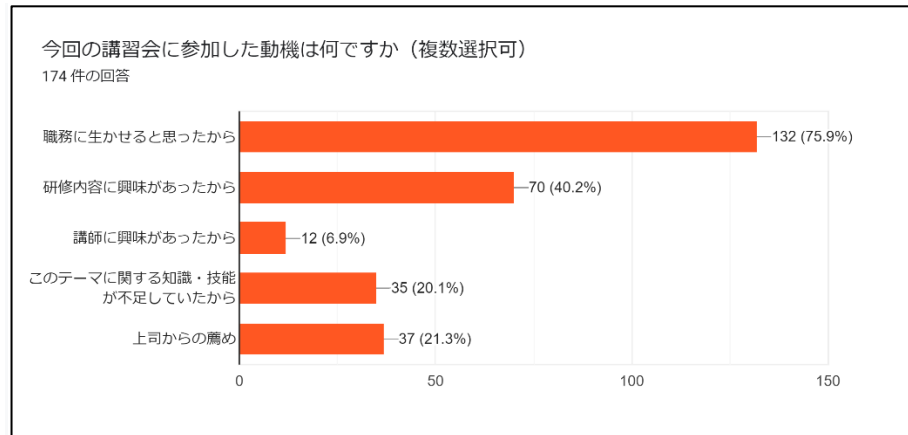


土木技術受講会『災害復旧実務講習会』 受講確認シート集計結果

1. 参加状況

区分	当初申込み	受講可人数	参加者	出席率
県	55	55	49	89.1%
市町村	28	28	26	92.9%
建設業	50	50	49	98.0%
コンサルタント	81	81	77	95.1%
その他	24	24	24	100.0%
計	238	238	225	94.5%

2. 今回の講習会に参加した動機は何ですか（複数選択可） 今



3. その他の場合や上記の具体的な理由を記入ください

- 現在、災害対応を行っている
- 災害復旧業務に関する知識習得のため
- CPD の取得
- 現在の仕事に直接関係するから
- 新しい情報の取得
- 災害時における現場対応及び復旧工について学び、今後の設計業務に役立てるため

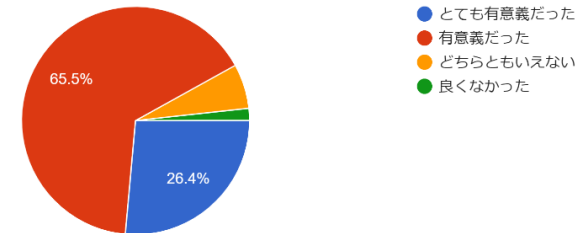
- 災害対応の実務における最新の情報収集
- 大規模災害が頻発する状況において、災害査定について、国土交通省の考えや立会官の立場からの意見が知りたかった。
- 最近の災害査定資料作成を知りたかった。
- 島建特別会での活動のため
- 昨年災害業務に従事したので色々と聞きたいことがあったため
- 興味があったから。
- CPD 確保のため
- 災害復旧実務の研鑽
- 応援などのため知識を更新したい
- 災害支援
- 今後、災害復旧関連に携わるため
- 島建特別会 災害技術支援登録会員であり、災害技術研修を兼ねているため
- R3 災害を経験して、査定への注意点を学ぶため
- 昨年の7月8月豪雨災害の災害対応にあたり、結構したため。
- 今後の災害業務に役立てるため
- CPD 取得
- 昨年の豪雨災害に伴い災害復旧における実務等の基礎的な知識を身に着けるため
- CPDS ユニット数取得のため
- 災害復旧の最新の動向を知るため
- 島健特別会による災害応援に役立てるため
- 私の災害対応に関する知識が乏しく、業務でどういう対応が必要か知りたかったためです。
- 業務の為

土木技術受講会『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

- 頻繁に起こる災害時に生かせると思ったから
- 災害の支援業務に活かせるため
- 道路災害の担当をしており、職務に生かせる内容だと思ったため
- 受講が災害技術支援の条件のため
- 近年、災害業務が増えており、今後も予想されることから、予備知識として学ぶ必要があると思ったため。
- 最新の情報を得るとともに、査定の受験時の留意事項や財務省の立会官からの視点を伺うことにより、災害復旧事業の業務を行うのに役立てるため
- 災害復旧業務が増えており、最新の情報を取得するため。
- CPDS の単位の取得のため
- 島建特別会会員のため
- 災害の測量設計業務を受託することが多く、勉強のため。
- 島建特別会で災害時の支援に参加したいため
- 災害技術支援のため
- 災害支援業務に必要だと思ったから。
- 入庁1年目にして災害が発生し査定等受け、工事発注しているが今後のことを考え、今回の講習会に参加させていただいた。
- 災害査定作業においての知見を広めるため。
- 島建特別会の災害技術支援に参加するため、講習会の受講が必要。
- 島建特別会からの案内
- 災害があるたびに該当年の講習を受けていればと後悔することが多いため

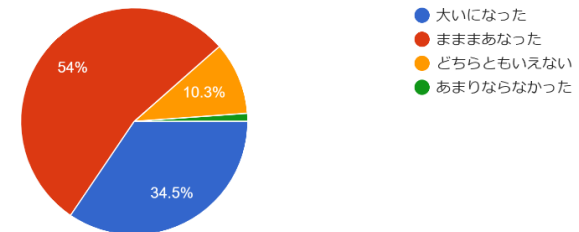
4. この講習会は有意義でしたか

この講習会は有意義でしたか
174 件の回答



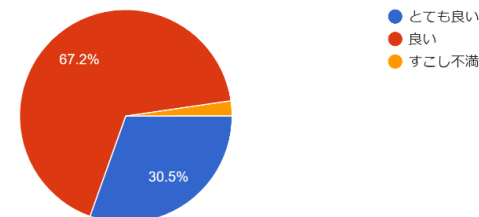
5. 今後の自己啓発の動機付けになりましたか

この講習会は今後の自己啓発の動機付けになりましたか
174 件の回答



6. 講師について意見がありますか

講師について意見がありますか
174 件の回答

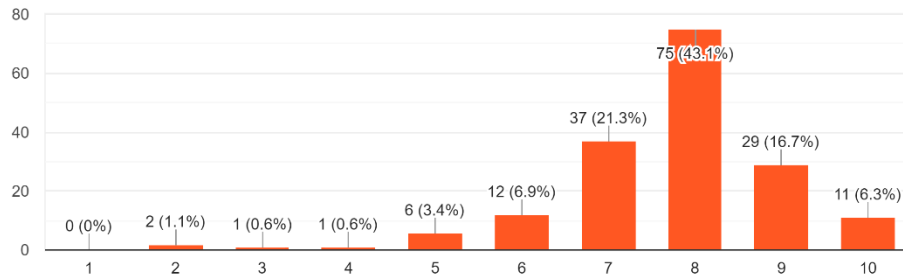


土木技術受講会『災害復旧実務講習会』 受講確認シート集計結果

6. この講習会を評価すると 10 点満点で何点ですか

AVE: 7. 7

この研修会を評価すると、10点満点で何点ですか
174 件の回答



その具体的な理由を記入して下さい

- 色々な立場の方たちの意見を聞いて興味深かったです。
- 財政課の方の話を聞く機会は滅多に無いため良かったです。
- 制度改訂に係る最新動向を知ることができた。
- テキストの見やすさ。講師の説明姿勢。
- 「災害査定のための知識と注意点 I」の時間が足りなかったのが残念でした。
- 充実した内容でした。
- 普段聞けない人から色々意見を聞いたのでためになった
- 講習に使用されている事例やデータが新しい。
- 立場や考え方がわかりました
- 3人の講師からそれぞれの立場、視点での話が聴けて良かった。
- 自分の知識不足でわからないこと(用語など)あったため。
- なんか面白かった。
- タイムリーな話題かつ、速実務に使える情報が満載だった。

- 施工会社には無縁であるが、新しい分野を知れて勉強になった。
- 災害査定未経験者や土木未経験者であるので、基本用語や基本的な内容を当たり前のように話されていたので、未経験者向けの講習があればよいと思った。
- 立会官の意見が聞けて良かった
- 査定の中で判断に困られた事例が、日頃我々が悩む内容と一致していて共感もてた。わかりやすい説明でとても良かった。
- 国土交通省以外の災害査定の実務を行ったことはありましたが、土木関連は無かったので知らないことが多く、役立つものと思います。
- テキストが見え難かった
- 発注者、コンサルむけ
- 自身の意識啓発につながって良かった
- 本講習会の受講目的であった、今後の災害査定の効率化の情報や、復旧計画を行う上での留意点やチェック項目について学習することができた。
- 大変参考になりました
- 大変に勉強になった。測量設計の具体的な留意事項についてもう少し聞きたかった。
- 分かりやすい講義でよかった。
- 災害査定の実務や留意事項が簡潔にまとめられており、有意義な講習会だった。
- 半日ではやや短い気がしました。
- 公務員や一部建設コンサルには有意義だったでしょうが、建設業協会会員のみなさんには役に立たなかったと思いますので評価を少し下げました。
- 具体的な事例を交えての説明であったので、よく理解できました。

土木技術受講会『災害復旧実務講習会』 受講確認シート集計結果

7. この講習会全体を通じて感じたこと、要望、提案等率直な意見を記入してください

- 声が聞き取りにくかったので音量をもう少し上げて欲しかったです。
- 査定・調査・計画に関する内容のため、現場施工に関する内容が無かった。
- 講師の説明がとてもわかりやすかった。
- 会場が広くて良い。スクリーンが少し見えづらいけど、大きいのは良い。
- コロナ禍において、大変お世話になりました。
- 査定方針の決定後、再度受講したいと思います。
- 講習終了後の QR コード読み取りは、受講番号が遅かったのでかなり待ち時間がありました。もう少し早くなる方法、QR コード読み取り自体をやめるなど改善して頂きたい。(スマホは読み取りに時間がかかるので、紙に統一したほうが良いと思われます。)
- 隠岐会場(隠岐建設会館)の会議室正面(スライド画面横)に政治家のポスターがあり、気が散る原因ですので外していただきたいです。
- (意見) 災害復旧は、テクニックではなく、日頃からの広範な技術力研鑽が必要です。島根県では、過去の災害において、全国の地方自治体から応援、国土交通省の災害緊急調査、島根県測量設計業協会や島根県道路防災ボランティア協会の技術支援等を受け、全国各地の自治体への応援も行ってきた。そして、市町村に対しては、大規模災害時に長期・短期の応援を行うとともに、災害査定における市町村支援を行っている。令和3年度の豪雨災害においては、島根県測量設計業協会や島根県建設技術協会が支援・応援活動を実施されているが、島根県砂防ボランティア協会、島根県道路防災ボランティア協会、国土交通省 TEC-FORCE 等の活用は目立った活用がなかったと思われる。県におかれては、市町村の災害復旧における支援にあたり、本講習会等の機会を通じ、各種協会との災害協定等の活用、査定資料の効率的な作成に向けた技術力向上の取り組みを一層強化されることを期待している。

- たくさんの講習会はひさびさでした QR コードはなれてなくて忘れていましたが非接触が可能で良いと思います
- 知識不足もあって受付用 QR コードを印刷しなかった。学習したので次は大丈夫です。
- 座学での基礎知識を身につけることはもちろん必要であるが、それをより高めるために実戦形式の研修が必要と感じた
- 質疑応答の際のマイク音質が悪く聞きづらい点があった。
- 災害査定について、今までは縁がなく、全く知らない分野であったが、今回の講義により勉強できて良かった。
- 災害査定未経験者や土木未経験者であるので、基本用語や基本的な内容を当たり前のように話されていたので、未経験者向けの講習があればよいと思った。
- 財務の立会官のお話が聞けてよかった
- 講義内容が申請者(地方自治体)よりであったと感じる。査定官や立会官が業者が提出した成果に対してどのような点を改善すればよいかといった視点の講習があればなおよかったと感じた。
- 非常に有意義でした。次年度以降もぜひお願いします。
- 今回は、査定をする国側のお話でしたが、県、市町側の実例報告もお聞きたい。
- 本省の方や、立会官の方の講習は貴重だとおもうので、ぜひ今後も続けていただきです。
- 今回の研修は参考になった 災害が多発する前の今の時期に毎年開催していただけるよう希望する
- 全体を通じて勉強になった。
- 多目的ホールは寒かったです。
- 今後活かすことが出来る内容で非常に有意義でした。今後も積極的に講習会に参加したいと感じました。

土木技術受講会『災害復旧実務講習会』 受講確認シート集計結果

- 事前質疑集約が活発であるとなお充実するかと思います。
- CPDS ユニット付与の特典だけでなく、建設業のみなさんにとって有意義となるような講義が必要だと思います。コロナ対策に気を遣いながらワイヤレスマイクはアルコール消毒なしで使い回しでした。みなさんマスクをしているので必要ないということでしょうか？
- リモートで十分対応可能であるので、今後も継続して西部会場での開催を行っていただきたい。

8. 今後講習会に取り入れてほしいテーマ・内容があれば記入してください

- 施工に関する内容を取り入れていただきたい。
- 引き続き同種の内容を開催していただきたい。(調査成果品の品質向上に資するもの)
- 年度末開催予定(?)の第2回講習会を期待しています。
- 特になし。
- 特になし
- 維持更新の例 健全性の判定方法など
- なし
- 業務評価方法
- 既設構造物の調査・補修方法
- 工事用道路について
- 災害査定未経験者、土木未経験者への災害査定の講義
- 欠格事例をもっとしてほしい。
- 無し
- 意見交換の場が有意義でした。特に簡素化に関する意見交換の時間を拡充しても良いと感じました。
- 施工に関する事故防止に関するものがあれば聴講したいと思います
- 最新の工法も含めて、復旧工法に関する講習会(メーカーの宣伝ではない、全国の復旧事例)を開催していただきたい。
- とても良い講習であったので、隔年などでもよいので続けてほしいと思いました。
- より実務寄りの事例を交えての災害研修があると若い技術者が理解しやすい。
- コンサルタントが行う測量設計の部分についての研修会があれば参加したい。

土木技術受講会『災害復旧実務講習会』 受講確認シート集計結果

- 会計からの視点で、施設管理や事業評価を複式簿記で評価
- コンサルタントさん側からの講義もあって良いかと思います。
- 現時点では思いつきません。

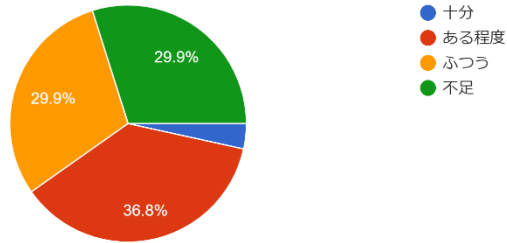
9. 今後「島根県建設技術センター」に取り組んでほしい内容や開催してほしいイベントがあれば記入してください

- 技術者倫理に関する講習会
- 健全性の判定など技術支援
- 初めてQRコードを使用した講習会の受講であったため、まず受講通知書（QRコード付き）の印刷の仕方がわからなかったこと、受講通知書の「https://・・・」が打つのに長すぎるため、もっと短くならないでしょうか？
- 県の災害統一事項の研修
- コンサルタントが行う測量設計の部分についての研修会があれば参加したい。
- インフラツーリズム ・建設業に興味を持って貰い、就労者を増やす為の広報活動(広報誌発行、PR活動等)
- 立会官だけでなく査定官が感じていること等も聞けたらよかったかなと思います。
- 現状でよろしいかと思います。
- すべての講習会を西部会場でのリモート開催としていただければと思います。

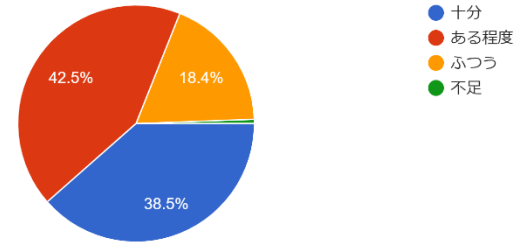
土木技術受講会『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

講習会科目「大規模災害時の災害復旧対応の現状と課題」について

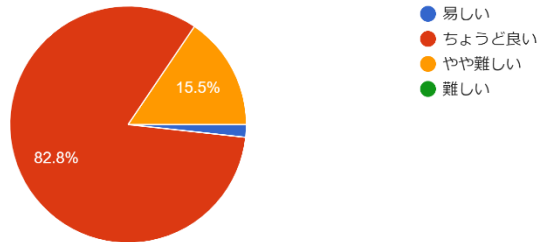
「大規模災害時の災害復旧対応の現状と課題」について受講以前に科目の内容を知っていましたか
174 件の回答



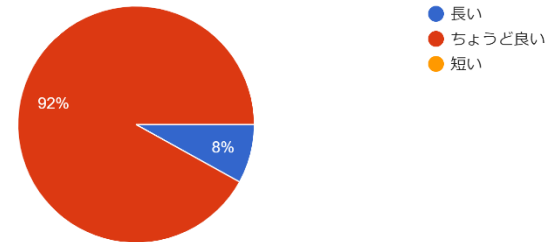
「大規模災害時の災害復旧対応の現状と課題」のテキストなど、教材の内容は充実していましたか
174 件の回答



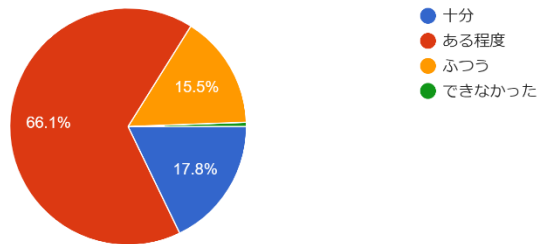
「大規模災害時の災害復旧対応の現状と課題」の講義水準はどうでしたかしたか
174 件の回答



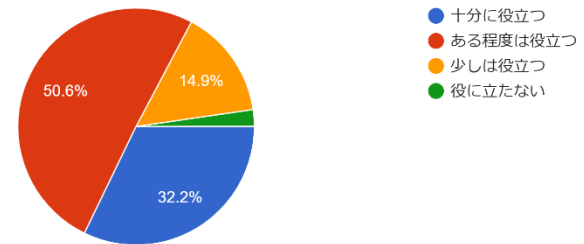
「大規模災害時の災害復旧対応の現状と課題」の講義時間は十分でしたか
174 件の回答



「大規模災害時の災害復旧対応の現状と課題」の内容について理解できましたか
174 件の回答



「大規模災害時の災害復旧対応の現状と課題」は今後の仕事に役立ちますか
174 件の回答



土木技術受講会『災害復旧実務講習会』 受講確認シート集計結果

講習会科目「大規模災害時の災害復旧対応の現状と課題」の意見・感想・要望・質問があれば記入ください(意見・感想・要望・質問)

- ほとんどの災害に携わっているので共感した。
- 今後の労力軽減に向けて尽力されていることがわかりました。
- テキストの充実と他所管庁との連携
- 大規模災害時には、測量・設計を受託したコンサルとしては早期査定に向け、申請書類の簡素化は大歓迎です。しかしながら、県や市町村の担当者からは、査定後の早期発注と重変回避のために詳細な図面や数量計算を求められています。工事の発注方法や重変対象範囲の見直しが必要と考えます。
- 毎年のように災害復旧業務があるから
- 非常にわかりやすい講義でした。
- 査定を早くというのは理解できるが、人材の育成を考えた方が早いのでは
- 災害査定の超簡素化について、職員の業務負担が減少すると考えられるため、早期に制度化されることを望む。
- 1.「優先順位を踏まえた申請」に対する対策として、「①案件の優先順位の連絡」と「②資料の送付」の作業を分けて、「②資料の送付」の際は案件毎に優先順位付きのデータフォルダを準備して保存する様にしてはいかがでしょうか。市町村職員は当該フォルダに出来た資料を都度保存できるため、資料の散逸や連絡忘れが減りますし、査定官としては優先順位が高いフォルダの中身を閲覧する事で資料の出来具合(必要な資料が作成されているか)を確認できるようになると考えます。
2. (大規模災害の際は難しいかもしれませんが)書類の作り方に慣れている査定官を一人現場に派遣するのはいかがでしょうか。市町村の現場では忙しい中慣れない書類を作成した上、後日指摘されて修正するのは非常に無駄なので、作成段階から現場(もしくはオンライン上で常に相談できる環

境にしていだいて)で都度指導いただけると両者にとって一番労力が少ないかと考えます。

3. 災害対応の理解を深めるには実際に一度現場で作業してみるのが一番だと思います。そのため、災害があった自治体に他自治体の職員(災害対応未経験職員)を派遣しても現場が回るような仕組みを構築し、災害対応をした事がある職員数を増やす事が良いかと考えます。

- (意見) 市町村における技術職員不足は、災害復旧に限らず、社会インフラの維持管理や社会資本整備においても喫緊の課題です。特に、大規模災害時には、災害復旧工事の早期着手は民生安定上からも重要な課題です。是非とも、効率的な簡素化の取り組みが早期に実現することを願っています。しかし、市町村の災害復旧対応は、こうした査定手続きの簡素化だけで解決するのでしょうか。もっとも重要な問題点は、災害の本質の理解が十分ではなく、被災箇所を見れば被災状況や復旧後の姿がイメージできる技術力が不足していることではないかと思っています。今後、国はもとより、県においても、日常的な市町村職員への技術的支援を行い、大規模災害時は職員派遣等を積極的に実施されることを願っています。
- コンサルの立場で考えると災害発生から県 市町村と業務が集中する 公共 農災 林道災と重複し納期が厳しい。60 日以内の査定目標達成のために簡素化してほしい。2 割以内はすべて軽変として工種の変更や追加を申請者に任せるなど軽減が必要です。また箇所数に応じて越年査定も検討されたい
- 講師と受講者との質疑応答、意見交換があって良かった。
- 発災直後から査定を受けるまでの期間が非常に忙しいため、査定までの業務量を減らすことは重要と思う。護岸の復旧だけのような比較的単純な箇所であれば査定から工事発注を含めて 1 断面で工事発注し、施工時に複数断面を提供して現地確認したうえで施工し、複数断面で変更清算してはいかがでしょうか。
- 災害復旧事業の円滑な実施に向けて知識を増やすことが大事だと感じた。

土木技術受講会『災害復旧実務講習会』 受講確認シート集計結果

- 災害対応後に通常業務を遂行することの方に大変な労力を要したのが率直な感想です。
- 災害対応でしんどかったこと) 昨年度は災害箇所が多く、写真撮影とエクセルで写真を取りまとめることも相当な仕事量でした。某市役所は、災害対応後に相当数の若手や中堅職員が辞めてしまいました。職員への事後フォローも必要と思います。
- 最新の情報を講義頂き大変参考となった。
- 県市町村等の発注者向けの講義だったので、施工会社には難しい内容だった。
- 多くの参加者の方が、豊富な知識を既に得ている方だと思うので、それに合う講義であったと思うが、ベースがない者からすると、不明な用語が出てきたり、略語を言われるとわからないことが多々あった。
- 重変の際、期間が長すぎて河川工事が進まないことがある。
- 制度改善について、期待します。
- 質問にも出たが、査定を簡素化すれば重変が膨大になるので、変更についても是非検討を進めてもらいたい。
- 災害復旧プロセスにおける査定実施期間を復旧工事段階まで柔軟に対応してもらうことは可能でしょうか。
- 実態のある簡素化を希望します。よろしくお願いします。
- ガイドラインのような手引きが今までないことを知りました
- 実際の実務に今後着くことになるので用語など分からないことがあったが、勉強してみようと思う。
- 講習会の中で2段階査定のお話があり、具体的な制度設計は検討中ということでしたが、実施にあたっては、査定実務を行っている地方公共団体の意見照会を十分に行っていただきたいと思います。例えば、自治体職員にとっては、第1段階査定で、職員による写真撮影のみによる査定を「現地」で行う場合は、その後の詳細な第2段階「現地」査定と合わせると、今までより多く

の負担が自治体職員にかかるため、負担面から考えると、第1段階査定は「資料提出のみ」とするとか、いろいろな意見が出ると思います。また、1断面のみによる査定は、ブロック積など金額が大きい工種では、実施設計との差が大きくなる場合があるので、「実測に伴い、地形・地質に伴う数量の変更は3割・1000万円を超えても報告のみで良い」とか重変の規定変更は必要と思います。被災から工事完成の期間を短縮するためには、3次元測量による査定設計書作成を県、市町村に普及することが早道とも思います。

- 発注までの簡素化は発注も早くなり良いと思いますが、質問にもあった通りあまり簡素化されると施工時の変更があつて大変な作業になりがちであると思いますので、その辺りを踏まえた手順をよろしくお願いします。
- 大規模災害時の市町村への支援策などについてよくわかった。
- 災害査定の簡素化の今後の動向について特に興味深かった 今後、突発的な災害に対しても円滑に査定に向かえるよう常日頃から準備しておくこと、さまざまな支援があること、災害に対する知識を深めておく必要性を感じた
- 現行の大規模災害時の設計図書等の簡素化では、査定は早くなるが、工事着手までの時間はあまり変わらない上、設計変更協議が多発するなど、メリットを感じないところもあるため、更なる簡素化に期待しています。
- 軽微な変更の範囲拡大も含め、検討をお願いします
- 簡略化に伴いこなせる量が増加しても肝心の質が低下してしまうので、少しでも高い状態を維持するために、平生からの準備、研修、シミュレーション等の備えというものは欠かせないと改めて感じました。また、二度手間を無くす・減らすために、被災発生後に行う現地調査の段階で可能な限り現場をよくみて被災原因、被災状況、被災延長、想定対策工 等の精度を少しでも高める努力が初動の段階で必要と感ずますし、後出しにならないようライフライン、用地等に関する資料が素早く提供できる体制も必要だと感じました。
- 行政側の現状と課題を把握できた。

土木技術受講会『災害復旧実務講習会』 受講確認シート集計結果

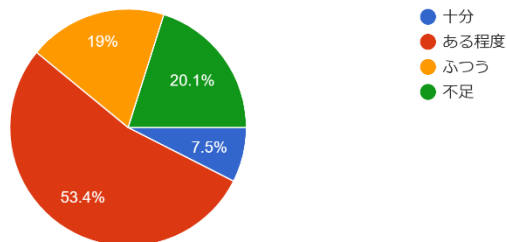
- 災害発生から査定までの時間が限定されている中で、今後、災害規模も大きく多地区で同時期に発生する傾向が考えられ、また、人手不足の状況が想定される中、簡素化に向けた仕組みについての取組みは非常に有意義であると感じた。是非、早期に実施出来るようになればと思う。また、講師への質問タイムは、質問内容とその回答は、非常に勉強となった。
- 大変参考になりました
- 今までの災害査定に伴う事務仕事量について、今後のダイナミックな改定に期待したい。
- 勉強になった。
- 二段階査定のイメージは、一段階で箇所と概算工事費の認定を行なう。時期は発災後二ヶ月まで。二段階目は、実施設計書(工事発注用設計書)により工事費等の修正、確認を行う。時期は、発災後 2 ケ年以内とし、業務の平準化が図られるとよいと思います。民間事業者等による災害復旧を支援する仕組みのなかに、建設会社も参加出来る仕組みがより円滑な復旧事業への対応が図れると思います。コンサルだけの設計図書等作成は、施工方法、仮設計画に不備が多く、実施で困る事が多い。査定設計書の良い事例、悪い事例の事例集があると参考にしやすいと思います。
- 昨年は被災箇所が多く、人員および経験の不足が課題であると感じました。今後も災害が増えると予想されるなかで、制度改善により負担が軽減し、より速やかな災害復旧に繋がることを期待します。また、改善される制度に対応し柔軟に動けるよう知識と経験を少しずつ積みたいと感じました。

- 査定の簡素化の話がありましたが、簡略した資料による査定額決定で、後々重要変更手続きや不足額を県市町村単独費の持ち出しなど課題はありそうです。災害査定したその場で補助金が確定するという良い制度ですが、根本から見直す時代になってきたかなと思います。飛躍的ですけど VR 査定、AI 査定、自治体単位の決定額の 2 割以内なら軽微な変更として事務処理(前提条件:起終点や復旧工法変更無し等々)するくらいやらないと頻発する激甚災害への対応は、国・自治体ともマンパワー的に厳しいと思っています。
- 立会官の視点からの注意点は勉強になりました。
- 今回のような講習会を通じて、今後も課題に対する制度改善に関する情報提供をして頂ければと思います。
- 講義内容に要望ございません。
- 意見交換の場が設けられていたことが良かった
- 災害査定業務自体の簡素化をぜひ推進していただきたい

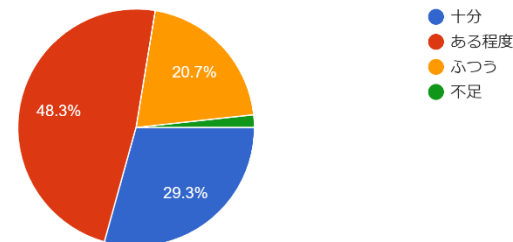
土木技術受講会『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

10. 講習会科目「災害査定のための知識と注意点Ⅰ」について

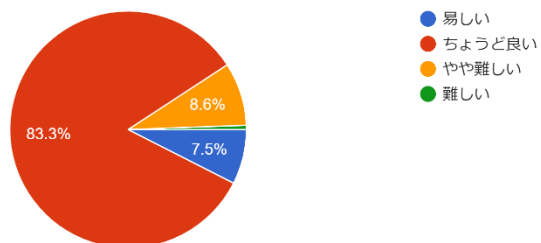
「災害査定のための知識と注意点Ⅰ」について受講以前に科目の内容を知っていましたか
174 件の回答



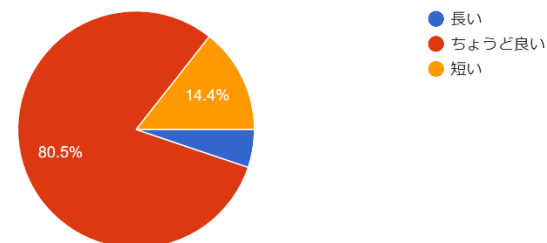
「災害査定のための知識と注意点Ⅰ」のテキストなど、教材の内容は充実していましたか
174 件の回答



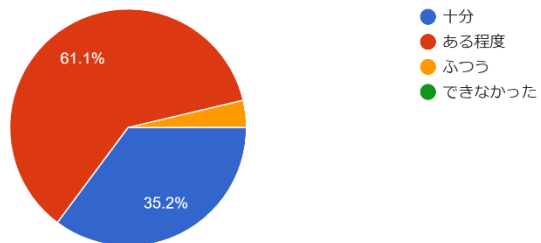
「災害査定のための知識と注意点Ⅰ」の講義水準はどうでしたかしたか
174 件の回答



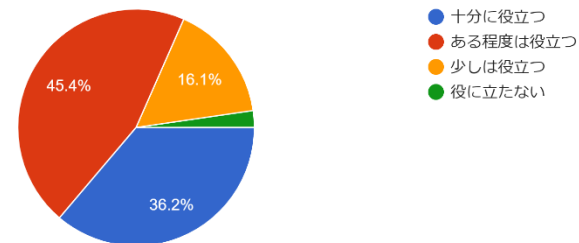
「災害査定のための知識と注意点Ⅰ」の講義時間は十分でしたか
174 件の回答



「災害時の危機管理」の内容について理解できましたか
54 件の回答



「災害査定のための知識と注意点Ⅰ」は今後の仕事に役立ちますか
174 件の回答



土木技術受講会『災害復旧実務講習会』 受講確認シート集計結果

11. 講習会科目「災害査定のための知識と注意点Ⅰ」の意見・感想・要望・質問があれば記入ください(意見・感想・要望・質問)

- 良かった。
- 資料で具体的な事例を多く提示していただき参考になりました。
- テキストの定型化と毎年の更新
- 災害査定の効率化を図るための机上査定ではありますが、十分な写真が撮れてないことにより、返って時間がかかることがあります。申請書類に添付する写真とは別に、動画を用いた説明が有効だと考えます。また、災害復旧工事と改良工事の違いを理解していない担当者もいるようです。
- 査定方法の方針が決定後、再度受講したいと思います。
- 復旧工法の選定等、もう少し実務よりの研修内容であれば良かったと思う。
- 欠格・失格を含めた具体の事例がもう少し多く紹介されれば良いと思いました。
- 時間がなく終盤の内容について割愛されてしまったのが残念でした。
- (意見) 測量・設計の留意点では、簡素化・改善されている事項の記述がある。また、危険な箇所における写真撮影は「不要」ではなく「実施不可」とすべきです。
- 分かりやすく良かった 交通誘導警備員についていつも困っている 警察との事前相談も難しく 交通量などで 標準化できないか検討ください
- 査定に向けての写真をいかにわかりやすく撮るかが大事だと感じた。
- 査定に際し、揃えるべき書類一覧と、細かい例があると嬉しいです。市町によって設計図面の指示などが異なり、コンサル会社は手戻りをたくさんしていました。床掘・掘削の考え方 1 つとっても、市町の職員が間違っ理解して手直しをさせられたり、いちいち議論が必要となっていました。
- 多くの参加者の方が、豊富な知識を既に得ている方だと思うので、それに合う講義であったと思うが、わかっているのに飛ばすというところが多く、聞きたい内容がしっかり聞けなかった。講義内容は基礎的なところもモウーしているように資料からは見て取れたが、説明が不足だと感じた。
- 昨年の災害査定を踏まえ、講義を受けたが査定の際に言われた事を思い出し納得しながら聞くことができた。
- これから災害復旧工事を実施するが、復旧工法および仮設計画に伴う施工協議をどのように進めて行くべきか理解できた。
- 細かくまとめられた資料で分かりやすい。
- 査定官としてもう少し具体例で、実例(こう言うのは良くない)などをお教えいただければと思います。
- 申請時の留意点、ポイントが整理されていてわかりやすかったです。講習会では時間がないため説明されなくてもいいですが、資料後半の事例を多く掲載していただけると今後の参考になります。
- 仮設道路 施工可能な仮設計画に努めてほしい 仮設大型土のう 必要設置面積を 1 個面積で除した数量ではなく設置個数で計上してほしい (締切対象水位が1m以下でも土のう袋 1 枚購入し設置するため)
- 机上査定時の写真撮影の工夫についてよくわかった。また、増破対策や既設ブロック積みとすりつけ工の間になるべく脆弱部を残さないことなど改めて考えるよい機会となった。
- 改めて、現場確認の重要性や災害メカニズムを考察しておくことの重要性を認識した 折に触れてこのような機会学んだことを活かしていきたい
- 復旧計画を行う上での留意点や特にチェック項目(申請者心得等)について、分かり易い説明でよく理解できた。可能ならば、もう少し講義時間を多くし、割愛されたテキストの箇所についても講義をしてもらいたかった。
- コンサルタントなので測量設計の留意点の時間がもう少ししっかり聞きたかった。

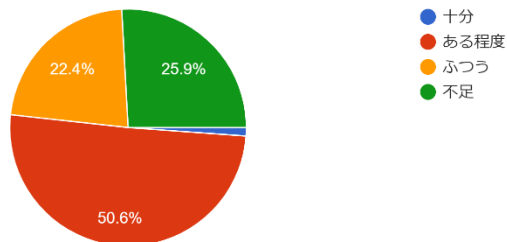
土木技術受講会『災害復旧実務講習会』 受講確認シート集計結果

- 災害査定で押さえるべき重要なポイントを学ぶことが出来、非常に有意義でした。今後、災害査定を受ける際には、この講義を振り返り活用したいです。
- 各機関、意志の統一と共有。
- 実務に即した内容で馴染みやすかった。
- ご自身が、実際の査定で気づいた事例などを具体的に説明していただければ良かった

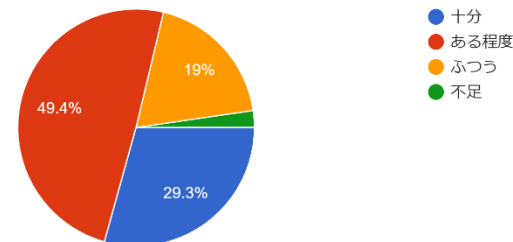
土木技術受講会『災害復旧実務講習会』受講確認シート集計結果

12. 講習会科目「災害査定のための知識と注意点Ⅱ」について

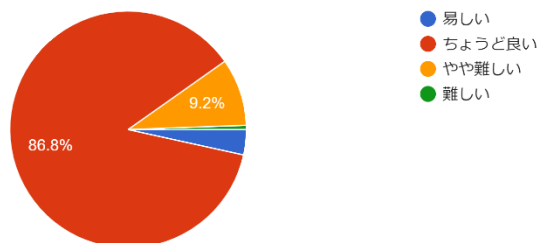
「災害査定のための知識と注意点Ⅱ」について受講以前に科目の内容を知っていましたか
174 件の回答



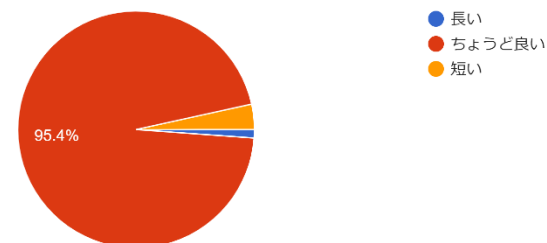
「災害査定のための知識と注意点Ⅱ」のテキストなど、教材の内容は充実していましたか
174 件の回答



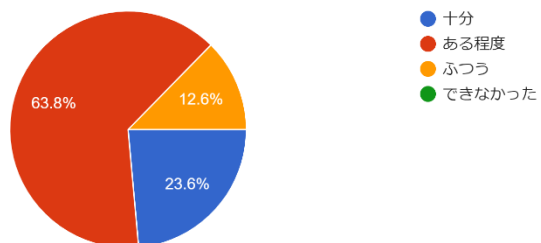
「災害査定のための知識と注意点Ⅱ」の講義水準はどうでしたかしたか
174 件の回答



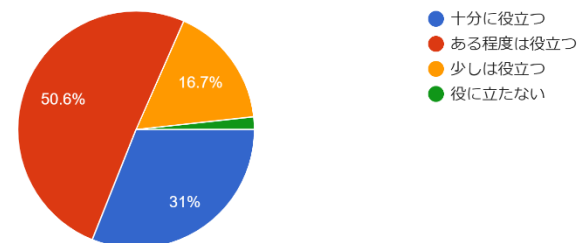
「災害査定のための知識と注意点Ⅱ」の講義時間は十分でしたか
174 件の回答



「災害査定のための知識と注意点Ⅱ」の内容について理解できましたか
174 件の回答



「災害査定のための知識と注意点Ⅱ」は今後の仕事に役立ちますか
174 件の回答



土木技術受講会『災害復旧実務講習会』 受講確認シート集計結果

13. 講習会科目「災害査定のための知識と注意点Ⅱ」の意見・感想・要望・質問があれば記入ください(意見・感想・要望・質問)

- お互いの立場を尊重しながら、3 者が対等の立場で意見を述べ、合議により決定されるような査定であれば良いと願っています。
- 立会官の話を聞くことはあまり無いため聞けてよかったです
- 査定に向けて資料の準備が大事だと分かった。
- 査定官の方と違った視点からのお話が聞けて、ためになりました。起点、終点は少しゆとりを持って設定することを心掛けようと思います。
- 多くの参加者の方が、豊富な知識を既に得ている方だと思うので、それに合う講義であったと思うが、ベースがない者からすると、不明な用語が出てきたり、略語を言われるとわからないことが多々あった。実体験を聞くことができ、面白かったが、未経験なので、どういう流れで、誰が、どのように立会官と協議するのか知りたかった。
- 環境保全型ブロックについての課題は同じように思っていたのでとても興味深かった。
- 立会官の目線は初めてお聞きしたので非常に参考になった。
- 土木設計側の基準書に従ってすればよい的な考えは、必ずしも災害査定の実原則から外れることを再認識しました。
- 環境保全型ブロックではないと「美しい山河を守る復旧基本方針」に準じたことにならないかなど、立会官の目から見た査定に関するご指摘は大変参考になった。今後いろいろな立会官の疑問、ご意見を聞く機会を設けていただきたい。
- 立会官の立場からの査定への考え方を聞いたのは貴重だった。
- 立会官の生の声が聞けて参考になった 査定申請について復旧工法の妥当性をきちんと考える必要があるとあらためて感じた
- 立会官の貴重な話が聞け、非常に参考となりました。

- 財務省としての立会する際の査定ポイントについて、分かり易い説明があり、今後、災害復旧計画を行う上で勉強となった。
- 大変参考になりました
- 環境保全型ブロックの採用と美山河の考え方について、納得する反面、県での統一事項がなされている以上はこれに従うこととなるため、今後の動向が気になると感じた。
- 査定時の雰囲気は少しであるが理解できた。
- 非常に的を射た内容で良かったです。
- これまで、立会官視点でのお話を聞く機会が無かった為、貴重な経験となりました。講義で学んだ、立会官が気になる点をおさえて、適切に根拠の整理をしたいと感じました。
- 思いの、ほとんどと、本音が伺えてうれしく、感心した。
- 立会官の立場での見方を知ることのでき、有意義な講習でした。
- 講義内容に要望事項はございません。
- いかにも「立会官」という講師の方でした。申請者や査定官に対する不満があるのでしょうか？
- 土木技術者以外の立場の方の意見は新鮮であり、改めて対応の必要性を感じさせられました。

土木技術受講会『災害復旧実務講習会』 受講確認シート集計結果

14. 講習会科目「災害査定のための知識と注意点Ⅱ」に関連して記入して下さい。①令和3年災をはじめ、立会官の対応について気になる点がありましたらお聞かせください。

- 査定経験無し
- 以前は高圧的な方がおられたが、去年はそのようなこともなくスムーズに査定してもらいました
- 立会官の存在理由を初めて知りました。
- コンサルタントなので査定に参加したことがない。
- 失礼かと思いますが、講義では無いとおっしゃっていましたが、財務省としての査定ノルマは本当はないのでしょうか。
- 特にありません。お世話になりました。
- 何回も査定を受けているわけではないが、以前よりも対等な立場で話をじっくり聞いてもらえるようになったと感じる
- 近年の災害査定では紳士的な立会官が多いと感じます。災害査定に二度ほど随行しましたが丁寧な対応でした。「立会官執務十戒」、勉強になりました。
- 用地について境界線が不明な箇所があるととても苦労します。土地所有者の同意書で査定 ok にしていただくと助かります
- 災害対応を経験したことが無いため、特にありません。

15. 講習会科目「災害査定のための知識と注意点Ⅱ」に関連して記入して下さい。②災害復旧制度、査定(立会)制度についてご意見がありましたらお聞かせください。

- 査定経験無し
- 現行の制度でよいと思います。
- もう少し査定までの日数を長く取れるようになれば良いのですが
- 災害査定立会制度の目的での説明があったように、必要な制度であることを改めて感じた。
- 修正の時間的な余裕が欲しい。
- 件数が多くなるにつれて査定業務にかかる時間が膨大となるため、現在検討されている簡素化がなるべく早く実行化されるようお願いしたい
- 早期に原状回復を図るには、短期間で予算が決まる災害査定は必要な制度であり、激甚災害が頻発する中、効率的に災害査定を行うためには更なる工夫が必要と考えます。
- 現状で適切な制度と感じます。
- 予算が必ず付く 補助制度が優遇措置あり 早期に復旧できる良い制度である。しかし、査定について早くできるよう資料など簡便になるよう働きかけて欲しい 重大変更の扱いを簡便化してほしい 一断面査定には変更柔軟性をもたせる
- 「採択するための根拠を明確に整理する事が重要」とのお話がありましたが、災害時の緊急対応をしている状況では全ての根拠を明確に整理する事が時間的に難しい場合が少なからずあると思います。その際には査定官・立会官の方には「根拠が明確でないのでダメだ。根拠を明確にしろ」と指示するだけでなく、「こういう意図・根拠ではないでしょうか。こうしたらより根拠が明確になる」といったアドバイス(提案)をしていただきたいと思います。

